



年度以降の大幅な整理統合を視野に入れ、本年度に事業評価を実施しながら、再構築に努めてまいります。

子どもの安全確保につきましては、行政や学校のみでは不可能なことから、町内会、防犯協会、老人クラブ、警察、関係団体などに協力をお願いし、適切に対応してまいります。

また、追分地区で昨年度から実施しております「子どもサポート隊」につきましては、早来地区の地域自治会単位で進めております、交通防犯活動などとの連携を含め、実施範囲の拡大などに努めてまいります。

#### (生涯の各時期における学習機会の充実)

幼少年教育につきましては、未来を担う子どもたちに、自ら学び考える力や人と関わる力、並びに豊かな心を育むことを目指してまいります。

そのため、小・中学生の文化鑑賞事業として、「児童観劇会」を開催するとともに、「生徒観劇会」につきましては、両中学校合同により開催してまいります。

また、戦争という愚かな過ちを二度と繰り返さないと誓った日から、60有余年が過ぎました。

平和教育の観点から、追分地域において昭和63年から実施してきた、「広島平和記念式典派遣事業」を安平町においても継続し、平和について考える力を養うとともに、後世に戦争を語り継いでいく努力をしてまいります。

団体活動といたしましては、地域単位の子ども会とともに、地域の特色にもなっている、子ども会育成連絡協議会の活動を側面的に支援してまいります。

青年教育につきましては、自ら鍛え、若い力と情

熱で行動し、存在感溢れる若者の育成を図ってまいります。

そのため、青年の力がまちづくりにつながる、「まちづくり講習会」の開催に努めるとともに、学校における「総合学習」や「体験学習」との連携を目指してまいります。

また、合併に伴い統一される「安平町成人式」、及び「祝賀会」につきましては、安平ABC（旧追分農村青少年連絡協議会）、及び青年サークル、さらには、新成人の協力を得て企画してまいります。

女性教育につきましては、男女共同参画社会の実現を図る意味からも、女性の地位向上と一層の社会参加を促進してまいります。

そのため、管内で実施されております胆振婦人国内研修事業に、女性リーダーを派遣し、女性の資質の向上に努めてまいります。

また、女性相互の意見交流や地域活動を担う、「婦人団体連絡協議会」につきましては、全町的な組織化や活動の拡大に努めてまいります。

成人教育につきましては、成人としての責任を自覚し、地域社会と理想的な関係を築くことを目指してまいります。

そのために、「生涯学習ボランティアスタッフ」の活力を活かした事業の実施とともに、町民が自主的に企画運営・参画する「マイプラン・マイスタディ事業」を推進してまいります。

また、北海道委託事業を活用した、様々な「子育て講座」を開催するとともに、両地域で実施されてきた「ブックスタート事業」を継続してまいります。

高齢者教育につきましては、自らの生きがい探しの場と、これまでの人生で得た学習成果を活用する、機会の提供に努めてまいります。

そのために、早来地区の「公民大学」と追分地区の「高齢者学級ふれあい塾」を開校しつつ、相互交流による「ふれあい機会の場」を提供してまいります。

また、高齢者が長年培った経験をまとめた、「知恵袋」を編集するとともに、これらの知識を、地域や子どもたちに広く還元する機会の提供に努めてまいります。